

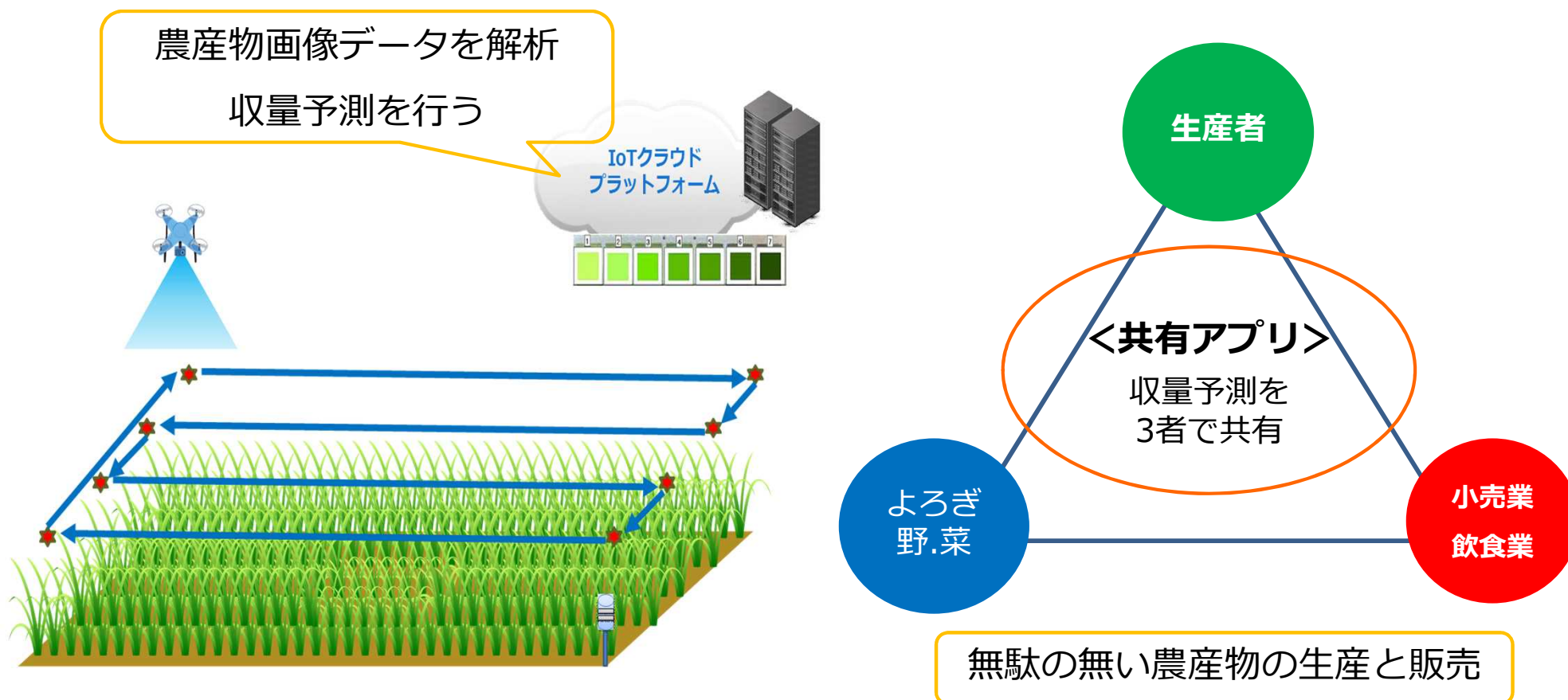
# No9 農産物収量予測によるフードロス減と販売計画の確立

(代表事業者) よろぎ野菜 (連携事業者) revot

## ■ 事業概要

生産者において、小売業等からの引き合いを超える収穫があった場合、販売できずに廃棄する農産物（フードロス）が発生しています。自動運転ドローンを活用した生育状況データに基づく収量予測を行い共有することで、効率的な販売計画を実行できる仕組みを構築します。

## ■ 課題解決方法のイメージ図



# No9 農産物収量予測によるフードロス減と販売計画の確立

(代表事業者) よろぎ野菜 (連携事業者) revot

## ■ 実施体制

(株)よろぎ野菜	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 圃場の撮影、データ収集</li><li>・ ドローン及びシステム開発</li><li>・ 農産物の販売計画及びテスト販売</li></ul>
生産者	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 試験圃場の提供</li><li>・ 農産物の生産及び管理</li></ul>
種苗・肥料会社	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 生育状況データへのアドバイス 意見交換</li></ul>
販売企業	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 収量予測データを使った販売計画 テスト</li><li>・ 農産物のテスト販売</li></ul>

## ■ スケジュール・実証成果目標

### <スケジュール>

- ・ ドローン及びシステム開発 (6月~1月)
- ・ 収量予測システム開発 (9月~2月)
- ・ 農産物のテスト販売 (10月/12月/3月)

### <実証成果目標>

- ・ 圃場での破棄率5%削減
- ・ 茨城県産農産物の販売量up

## ■ アピールポイント

農産物の卸業を営み、販売ルートを持つ業者としての強みを活かして、販売ニーズを生産者へ伝え、農産物状況を販売業者へ伝えることで、畑にできた農産物を余すこと無く販売できる取り組みを構築します。